

竹末若葉

うるおい元気プラン！

竹末若葉地区小地域福祉活動計画
第一次計画

助け合い、健康で安全、安心できるまちに・・・



竹末若葉地区社会福祉協議会

ごあいさつ

竹末若葉地区では「住民みんなで安心して暮らせる
支えあいの地域づくり」を目指しています。社会福祉
協議会を中心に、関係する地域団体と協働して各事業
を遂行してまいりました。

北九州市社協で平成6年に開始された「ふれあい
ネットワーク推進事業」、当地区では平成9年度に
指定を受け、これをきっかけに、地域の福祉課題は
自分たち自身で解決していくことを目標に「見守り
・助け合い・話し合いのしくみづくり」を進めて
きました。そしてこの度、地域の重要課題として
取り組んだ活動の実践計画がまとまり、今後の当地
区の指針が確立されました。

当地区の高齢化率は30.5%、後期高齢者は
15.7%と、北九州市・八幡西区の数値を上回って
おります。なかでも70歳以上で一人暮らしをされて
いる方々が200人を超え、この方々の暮らしを支え
ていくことが大きな課題となっています。

この実情を踏まえ、地域福祉活動を担う社会福祉協
議会と各団体との連携・協働は喫緊かつ不可欠である
と考えています。「小地域福祉活動計画」の推進に
あたり、地域全体で目標を達成するために邁進して
いきます。

この計画の策定にあたり、関係者の方々の絶大な
ご支援ご協力をご感謝いたします。

平成27年3月

竹末若葉地区社会福祉協議会
会長 永田 豊

もくじ

ごあいさつ	… 1 p
第1章 計画策定にあたって	… 2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 竹末若葉地区の現状と課題	… 3 p
1 地域の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	… 4 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	… 9 p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2期計画の策定	
参考資料	… 11 p
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、竹末若葉地区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、竹末若葉地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 竹末若葉地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

平成27年度～平成31年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

竹末若葉地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、竹末若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。20名の委員による7回に及ぶ協議の上、竹末若葉地区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 竹末若葉地区の現状と課題

1 地域社会の動向

竹末若葉地区データ

平成 26 年 3 月現在

人 口	6,084 人	小 学 校	竹末、永犬丸小学校
世 帯 数	2,856 世帯	中 学 校	引野、永犬丸中学校
高 齢 化 率	29.9%	公 民 館 ・ 市 民 セ ン タ ー	竹末市民センター
一人暮らし高齢者数	443 人	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	八幡西 3
そ の 他 社 会 資 源 等	保育園、幼稚園、公園、集会所、病院、介護保険事業所等		

竹末若葉地区社協は、2 自治区会（竹末・若葉）、複数校区体制で運営しています。

竹末地域は、古くは農村地帯でしたが、今日では商業地域（相生）、住宅地域（竹末、若葉）として発展してきました。各地域とも高齢化が急速に進んでおり、一部の地域では高齢化率が 37% を超えています。また若葉一丁目～三丁目では、4 年後の平成 30 年度には 70 歳以上の高齢者が 4 割を占めるとも言われ、一人暮らしの高齢者の見守り、高齢者の健康づくりなどの対策強化が大きな課題となっています。

今後は、竹末まちづくり協議会が進めている健康づくり事業、コミュニティ事業（サロン活動）、青少年育成のための校区まちづくり事業や、2 自治区会が主導する地域交流伝統行事の伝承、防犯防災事業とも連携していくことが、ますます必要であると考えています。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

竹末若葉地区では平成 9 年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の影響もあり、福祉協力員等福祉活動者 20 人に対し、1 人当たりの見守り世帯が約 140 世帯と、負担が大きくなっていました。そのため地区内では福祉活動者の早急な育成が求められています。

福祉活動を進めていく上での課題としては、見守りが必要な方の情報を十分に得られていないという現状があります。特に一人暮らしの高齢者や老老介護の世帯など、支援が必要な方について情報を集めることが急務となっています。

また、運動不足や栄養不足、コミュニケーション不足によって人生に張り合いがなくなり、気力・体力が失われて介護が必要となる高齢者が増加しています。竹末若葉地区では、交流の輪（和）を広げ、より深めていくことが求められています。人との交流を通し、単調な生活からうるおいのある健康的な生活へ変え、介護予防に繋げていけるような活動を実施していきます。



第3章 計画体系

1 基本理念

「竹末若葉地区住民が、将来ともに協働して助け合い、健康で安全、安心に生活できるまちづくり」

竹末・若葉地区では、各地域団体（社会福祉協議会、自治区会、まちづくり協議会、民生委員・児童委員協議会等）が単独、または協働、連携して種々の事業を実施していますが、この「小地域福祉活動計画づくり」では、特に社会福祉協議会の主体事業である地域福祉活動に観点を絞って、以下の基本目標を3つの課題としてとらえ、実施項目としました。

2 基本目標

（1）地域のつながりの再構築

地域住民の交流の場をつくることで、地域のつながりを再構築し、住民相互で助け合う協働の福祉活動を推進します。

実行に際しては、地域諸団体と連携、協働して、ふれあいネットワーク活動の充実化を図ります。

（2）健康づくりの推進

地域住民が健康寿命を延ばすための前向きな健康対策事業を推進します。

より多くの人々が健康で明るく楽しい生活を送られるよう、介護予防、健康づくりを重点にした事業に取り組みます。

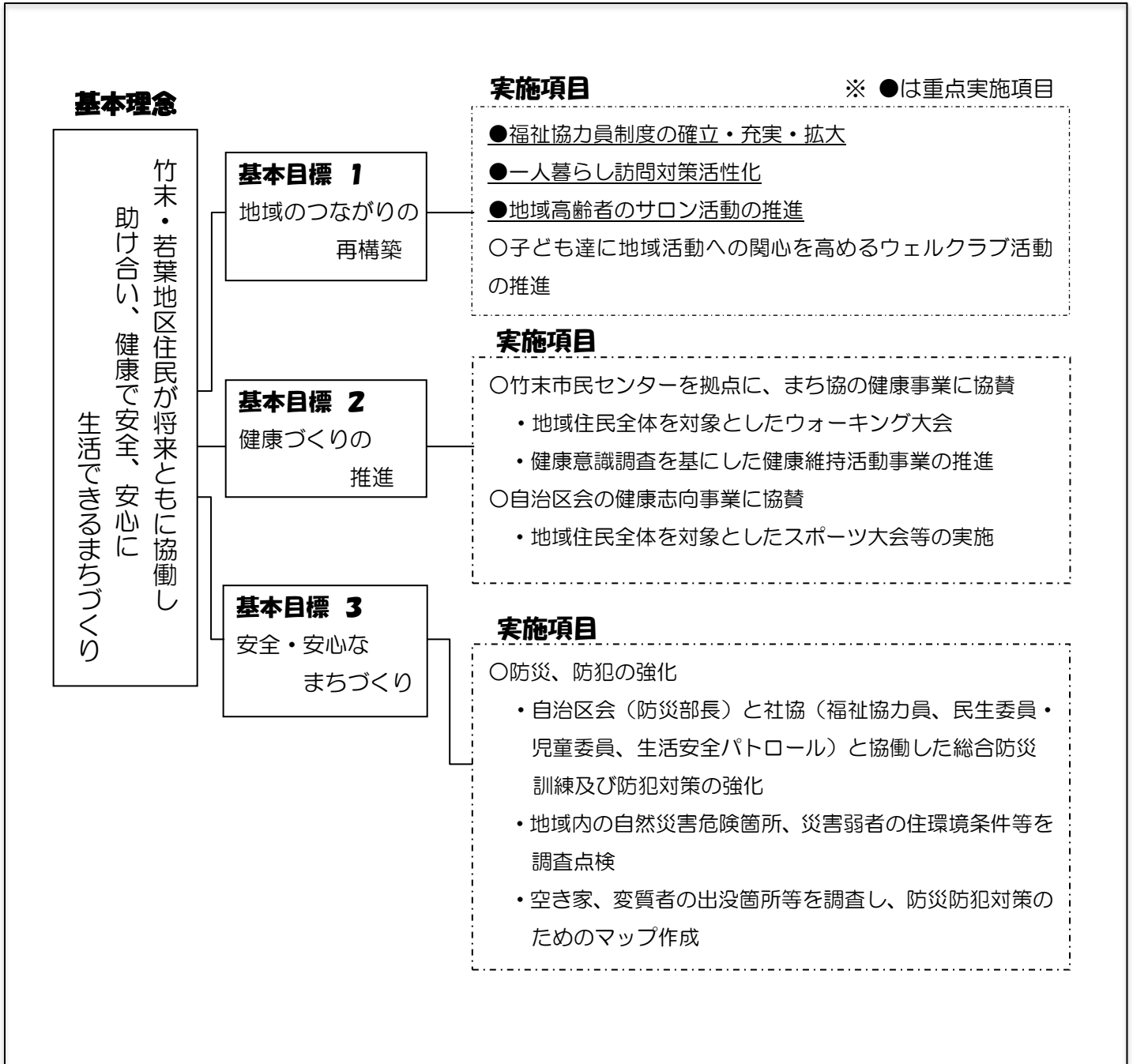
（3）安全・安心なまちづくり

地域住民が安全、安心に生活できる防災、防犯の体制づくりを推進します。

市民防災会を推進役に、竹末・若葉両自治区会が活動の主体となって、地域住民、特に災害弱者に対応した防災訓練の実施等により防災体制の充実を図り、併せて防犯体制の強化に努めます。



3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

竹末若葉地区地域福祉活動計画

重点活動 福祉協力員制度の確立・充実・拡大を図る

1 課題背景及び現状

当地区では、福祉協力員の必要性が十分に理解されないまま、その活動は低迷しているのが現状であった。

近年、高齢化が急速に進む当地区では、民生委員のみでは十分な対応ができず、一人暮らしの高齢者への見守り強化のため、福祉協力員の活動が必要となってきた。

2 活動の方針・目標

- ①50世帯に一人の割合の福祉協力員を配置する。
- ②民生委員とイコールパートナーとして、見守り活動に従事。
- ③地域として福祉協力員の組織的、機能的な活動を支援するため、社協内組織を充実させ、全地区統一的な運営を行う。

3 具体的な取り組み内容

- ①全区会もれなく、必要な福祉協力員を配置する。(偏重配置是正)
- ②一人暮らし、老々介護、虚弱者等の調査を行い、マップに落とし込む。
- ③八幡西消防署警防課と連携し、訪問チーム作成、活動を充実・強化する。
- ④自治区会役員(町内会長, 組長)との連携を深め民生委員、福祉協力員の活動に取込む。
- ⑤若年層を開拓し、福祉協力員の若返りを企図。員数と質の向上を目指す。

4 段階的な取り組みの年次計画

実施内容	連携する機関	H26 ・27	28	29	30	31	5年後の達成目標
全区会もれなく必要な福祉協力員を配置 (偏重配置是正)	自治区会 民児協 まち協	→					全町会均一配置
マップによる対象者の把握	町内会 民児協	→					見守り対象者別管理
公的機関との連携訪問 作戦	町内会 民児協 消防署	→					防犯防災に踏み込んだ一人暮らし訪問
区会内の福祉協力員の 充実拡充	町内会 民児協	→					自治区会役員 の半数を協力員化
若年福祉協力員の養成	自治区会 PTA 民児協	→					現平均年齢5歳 下げる



竹末若葉地区地域福祉活動計画

重点活動 一人暮らし訪問対策活性化

1 課題背景及び現状

竹末、若葉両自治区会地域で一人暮らしの高齢者は全人口の4%、250人に達しようとしている。この対象者を、見守り、助け合い、話し合いの仕組みづくりの中でどのような支援活動が必要か明確にしていく。

2 活動の方針・目標

- ①福祉協力員が定期的に一人暮らしの訪問を行う。(民生委員と連携)
- ②八幡西消防署が定期的に行う一人暮らし訪問事業と地域が提携して共働実践できる組織づくりを確立。積極的展開、運用を目指す。
- ③孤独死、保護者遺棄、行方不明、緊急時の避難不可能等の発生を回避、防止に努める。

3 具体的な取り組み内容

「福祉協力員制度の確立」で既述。福祉協力員の体制確立により、活性化を図る。

4 段階的な取り組みの年次計画

実施内容	連携する機関	H26 ・27	27	28	29	30	5年後の達成目標
一人暮らし高齢者の所在確認	民生委員 自治区会		毎年実施				未確認者「0」 (年長者交歓会の案内により確認)
住宅地図への落とし込み	民生委員 自治区会		→				100%確認
各機関と協力員間の担当割	関係全機関		→				地区関係諸団体連合の設定
訪問班の編成	民生委員 消防署		→				各町会専属型のクルー創成
地域活動・行事への勧誘 サロンへの参加促進 軽スポーツ会の参加促進	センター 民生委員 自治区会 体育委員 まち協			対象洗い出し		→	寝たきり、虚弱者を除く全員参加の健康施策樹立



竹末若葉地区地域福祉活動計画

重点活動 地域高齢者のサロン活動の推進

1 課題背景及び現状

当地区では急速な高齢化が進み、住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らすため、また、生きがいつくりや仲間づくりのための「集いの場」「ふれあい交流の場」（サロン）が求められているところである。

2 活動の方針・目標

- ①高齢者の期待に応えるため、自治区会、民児協、地域ボランティアが一体となったハードづくり（拠点づくり）を目指す。
- ②参加者の意識づけ、認識づけのため、広告宣伝活動を実施する。
- ③サロン活動の拠点を3カ所に設置。
 - イ 竹末市民センター 竹末公民館 若葉会館 （3カ所とも4日/月で実施）
 - ロ 目標人員：竹末市民センター（10人/日） 竹末公民館（5人/日）
若葉会館（7人/日）

3 具体的な取り組み内容

- ①現在実践中のサロン（竹末市民センター内）の一極集中拡大を図る。
- ②広報活動を活性化。対象者にアンケートを配布し、参加者募集。
- ③運営方針、内容検討、人材採用等組織づくりを実施。
- ④③に沿った行動規範、マニュアルを作成。
- ⑤運営費用、財源の調達。

4 段階的な取り組みの年次計画

実施内容	連携する機関	H26 ・27	28	29	30	31	5年後の達成目標
既存のサロンの拡大、増強	自治区会 民児協 まち協	1ヶ所		3ヶ所で実施			3カ所保有 均等割り運営 福祉協力員活用
広報、宣伝活動、アンケート実施 ⇒ 増員	自治区会 民児協 まち協			新規呼びかけ			広報誌発刊 1,000人/年目標 スタッフ体制の確立
運営方針 組織づくり	自治区会 民児協 まち協			養成			高齢者域から一歩 踏み出し、次世代層 メンバーの探索
行動規範 マニュアルづくり	自治区会 民児協 まち協			随時見直し			規範等見直し再編
財源確保	自治区会 まち協						プログラムの見直し 改善



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 地区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
 - ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
 - ③ 計画書概要版の配布等を通じた地区住民への周知
- 等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、竹末若葉地区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

等について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

竹末若葉地区小地域福祉活動計画推進委員会を開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2期計画の策定

第1期計画の推進状況を踏まえて、第2期計画の策定期（計画第4～5カ年度）には新しく第2期計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



竹末若葉地区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	竹末若葉地区 社協役職	備考
1	永田 豊	竜王地区民生委員・ 児童委員協議会	会長	会長	
2	小野 晃一	竹末まちづくり協議会	会長	副会長、総務・広報部 部会長	
3	安部 建世	若葉自治区会 竹末まちづくり協議会	区会長 事務局長	副会長、地域交流部 部会長	
4	善明 勝之	竹末自治区会 竹末市民防災会	区会長 会長	副会長、ふれあいネットワ ーク部 部会長	
5	鳥越 学	若葉自治区会	会計監査	事務局長	
6	片山 静子	竜王地区民生委員・ 児童委員協議会	主任 児童委員	会計	
7	久保田 昭男	若葉喜楽会 (老人クラブ)	会長代行	総務・広報部会 副部会長	
8	善明 英喜	竹末自治区会	町内会長	総務・広報部会 副部会長	
9	戸田 明弘	若葉自治区会	副区会長	地域交流部会 副部会長	
10	篠崎 壽徳	八幡保護司会 (竹末若葉地区)	保護司	地域交流部会 副部会長	
11	馬場 勘次	若葉自治区会 竜王地区民生委員・ 児童委員協議会	副区会長 民生委員	ふれあいネットワーク部会 副部会長	
12	金森 宣子	竜王地区民生委員・ 児童委員協議会	民生委員	ふれあいネットワーク部会 副部会長	



参考資料【竹末若葉地区小地域福祉活動計画の策定経過】

竹末若葉地区小地域福祉活動計画は、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、竹末若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、同委員会にて協議を行いました。

1 竹末若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	竹末若葉地区 社協役割	備考
1	永田 豊	竜王地区民生委員・児童委員協議会	会長	会長	委員長
2	小野 晃一	竹末まちづくり協議会	会長	副会長、総務・広報部 部会長	
3	安部 建世	竹末まちづくり協議会	事務局長	副会長、地域交流部 部会長	
4	善明 勝之	竹末自治区会	区会長	副会長、ふれあいネットワーク部 部会長	
5	鳥越 学	若葉自治区会	会計監査	事務局長	
6	片山 静子	竜王地区民生委員・児童委員協議会	主任 児童委員	会計	
7	久保田 昭男	若葉喜楽会(老人クラブ)	会長代行	総務・広報部会 副部会長	
8	善明 英喜	竹末自治区会	町内会長	総務・広報部会 副部会長	
9	戸田 明弘	若葉自治区会	副区会長	地域交流部会 副部会長	



10	篠崎 壽徳	八幡保護司会 (竹末若葉地区)	保護司	地域交流部会 副部会長	
11	馬場 勘次	若葉自治区会 竜王地区民生委員・児童 委員協議会	副区会長 民生委員	ふれあいネットワーク 部会 副部会長	
12	金森 宣子	竜王地区民生委員・児童 委員	副部会長	ふれあいネットワーク 部会 副部会長	
13	善明 康士郎	竹末自治区会	副区会長		
14	太田 正雄	竹末地区青少年育成会	事務局長		
15	蔵野 利雄	竹末自治区会	総務部長		
16	富田 朋子	竹末地区体育委員会	理事		
17	宮野 照子	竜王地区民生委員・児童 委員	民生委員		
18	妙見 博士	竜王地区民生委員・児童 委員	民生委員		
19	渡川 悦子	竜王地区民生委員・児童 委員	民生委員		
20	吉弘 清美	竹末市民センター	館長		



2 竹末若葉地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
	平成 26 年 6 月 13 日	ふくしプランニング工房 第 1 回
1	平成 26 年 6 月 24 日	1 地域の現状について 2 地域の活動状況について 3 地域の福祉課題について
2	平成 26 年 9 月 10 日	1 計画策定の趣旨について 2 策定委員会委員の選任について
3	平成 26 年 9 月 24 日	1 計画の基本理念について 2 計画の体系（基本目標、実施項目）について
	平成 26 年 10 月 10 日	ふくしプランニング工房 第 2 回
4	平成 26 年 10 月 28 日	1 計画の体系（基本目標、実施項目）について（見直し） 2 計画の重点実施項目について（3項目計画書作成）
5	平成 26 年 10 月 31 日	1 計画の体系（基本目標、実施項目）について（見直し及び決定） 2 計画の重点実施項目について（計画書の見直し及び決定）
6	平成 26 年 11 月 25 日	1 計画の推進について 2 計画書の編集について
7	平成 26 年 1 月 13 日	1 計画の広報について
	平成 27 年 2 月 20 日	ふくしプランニング工房 第 3 回



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

竹末若葉地区社会福祉協議会

〒806-0066 北九州市八幡西区若葉一丁目7番1号 竹末市民センター内
TEL 093-631-0261 FAX 093-631-0262

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内
(代表) TEL 093-871-4401 FAX 093-882-3579
(福祉部) TEL 093-873-1296 FAX 093-873-1351